

殿

骨材試験報告書

平成 年 月 日

工 事 名

工事場所

製 品 名

福井市志比口3丁目2番14号 はさきビル2階

久米田砕石株式会社





受 付 日：令和 4 年 2 月 10 日

〔 6号碎石 (S-13) 〕

令和 4 年 4 月 1 日

発行責任者 所 長 小 林 宏 成





骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	久米田砕石株式会社
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号
申依頼 請事者 項	試料採取日	令和4年2月10日
	試料採取場所	骨材堆積場
	試料採取者	今村 嘉孝
試料搬入日		令和4年2月10日
試験日		令和4年2月12日 ～ 令和4年3月31日

試験体種類		産地
粗骨材	6号砕石(S-13)	福井県坂井市丸岡町上久米田37字

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	6.36
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	0.5
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.57
		実積率 %	58.8
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	—
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表乾密度 g/cm ³	2.71
		絶乾密度 g/cm ³	2.67
		吸水率 %	1.66
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	14.8
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	3.2
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.06
骨材中の塩化物量試験	JIS A 1144	塩化物含有率 %	—
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	—
技術管理者		煤田 直也	
試験担当者		煤田 直也	

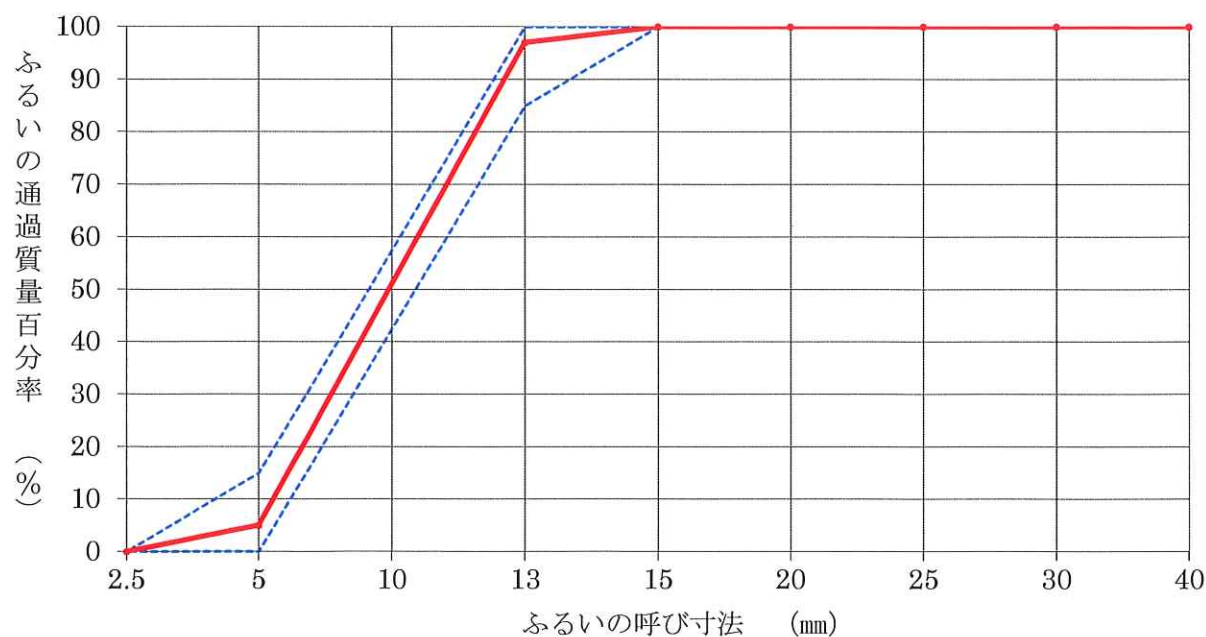
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

試験日	令和 4 年 2 月 15 日			
試験料	種類	6号砕石(S-13)	最大寸法	13 mm
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	令和 4 年 2 月 10 日		
	採取場所	骨材堆積場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	3347	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間ににとどまる試験料の質量 (g)	連続する各ふるいの間ににとどまる試験料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
40	0	0	0	100
30	0	0	0	100
(25)	0	0	0	100
20	0	0	0	100
(15)	0	0	0	100
(13)	90	3	3	97
10	1275	38	41	59
5	1801	54	95	5
2.5	171	5	100	0
受け皿	7	0	100	0
合計	3344	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.09	粗粒率	6.36	

粒度曲線図





試験規格 JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		令和 4 年 2 月 15 日	
試 料	種 類	6号砕石(S-13)	
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日	令和 4 年 2 月 10 日	
	採 取 場 所	骨材堆積場	
試 験 回 数		1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)	m_1	1633.8	1689.5
洗った後の試料の乾燥質量 (g)	m_2	1626.2	1680.8
骨材の 微粒分量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	A	0.5	0.5
2回の試験の平均値 (%)	$\bar{A}$	0.5	
平均値からの差 (規格値:0.2%以下)		0.0	

試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 4 年 3 月 31 日	
試 料	種 類		6号碎石(S-13)	
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日		令和 4 年 2 月 10 日	
	採 取 場 所		骨材堆積場	
試 験 回 数			1	2
単位容積質量	容器の質量	(kg) (1)	6.700	6.700
	容器の容積	(l) V	9.953	9.953
	(容器＋試料)の質量	(kg) (2)	22.313	22.304
	試料の質量 = (2)－(1)	(kg) m ₁	15.613	15.604
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$	(kg/l) T	1.57	1.57
	2回の試験の平均値	(kg/l) $\overline{T}$	1.57	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度	(g/cm ³) d _D	2.67	
	実積率 = $\frac{\overline{T}}{d_D} \times 100$	(%) G	58.8	

試験規格 JIS A 1110

粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 4 年 2 月 25 日	
試 料	種 類		6号砕石(S-13)	
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日		令和 4 年 2 月 10 日	
	採 取 場 所		骨材堆積場	
試 験 回 数			1	2
表乾密度	表乾状態の試料の質量 (g)	m ₁	1651.8	1720.2
	試料とかごの水中の見掛けの質量 (g)	m ₂	1442.4	1485.6
	金網かごの水中質量 (g)	m ₃	398.3	398.3
	試験温度における水の密度 (g/cm ³)	ρ _w	試験水の温度	20 ℃
			0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D _s	2.71	2.71
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	$\overline{D}_s$	2.71	
平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)			0.00	
絶乾密度	絶乾状態の試料の質量 (g)	m ₄	1624.7	1692.2
	絶乾密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D _d	2.67	2.67
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	$\overline{D}_d$	2.67	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)			0.00
吸水率	吸水率 = $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	1.67	1.65
	2回の試験の平均値 (%)	$\overline{Q}$	1.66	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)			0.01

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格 JIS A 1121

ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者： 煤田 直也

試 験 日				令和 4 年 3 月 3 日			
試 料		種 類		6号砕石(S-13)			
		産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字			
		採 取 日		令和 4 年 2 月 10 日			
		採 取 場 所		骨材堆積場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の 各群の質量 (g)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
		質量	質量百分率				
(mm)	(mm)	(g)	(%)	A～G	6～12	500または1000	m ₁
2.5	—	7	0				
5	2.5	171	5				
10	5	1801	54				2500
15	10	1365	41				2500
20	15	0	0				
25	20	—	—				
40	25	—	—				
50	40	—	—				
60	50	—	—				
80	60	—	—				
合 計		3344	100	C	8	500	5000
試験後1.7mmふるいに残った試料の質量 (g)				m ₂	4258		
すりへり損失質量 m ₁ －m ₂ (g)				742			
すりへり減量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)				14.8			

試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材							
試 験 日				令和 4 年 3 月 16 日			
試 料	種 類			6号碎石(S-13)			
	産 地			福井県坂井市丸岡町上久米田37字			
	採 取 日			令和 4 年 2 月 10 日			
	採 取 場 所			骨材堆積場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量	試験後の 各群の質量	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$	骨材の損失 質量分率
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの		(g)	(g)	(%)	$\frac{① \times P_1}{100}$
(mm)	(mm)	質量 (g)	①質量分率 (%)	m_1	m_2	P_1	(%)
10	5	1801	57	310	299	3.5	2.0
15	10	1365	43	509	494	2.9	1.2
20	15	0	0	—	—	—	—
25	20	—	—	—	—	—	—
40	25	—	—	—	—	—	—
60	40	—	—	—	—	—	—
合 計		3166	100	—	—	—	3.2

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。

試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		令和 4 年 2 月 18 日	
試 料	種 類	6号碎石(S-13)	
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日	令和 4 年 2 月 10 日	
	採 取 場 所	骨材堆積場	
試験前の試料の乾燥質量 (g)		m_{D1}	1694
試験後の試料の乾燥質量 (g)		m_{D2}	1693
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%)		C	0.06

注1) 試験回数は、附属書Bによる。

